

# つぼみだより



平成 22 年 3 月号 未就学部 NO・12

3月。桜のつぼみもふくらみ始めようやく暖かい春がやってきました。

春は別れと出会いの時、新しいつぼみに引越して一年、新しいお友達が増えたり、さよならしたお友達もいたり。そんな一年の間に、小さなつぼみが大きくなるように、子供たちひとりひとりも本当に大きく成長しました。今回は、次への大きな一歩を踏み出してほしいと願いながら、少しだけ立ち止まって一年を振り返ってみたいと思います。

## おおきくなったね

### ゆかりちゃん



今日は何するの？今日  
は？と必ずといっ  
ていいほど予定を確認  
していたゆかりちゃ  
ん。一日の流れを一緒に確

かめ、終わったらチェックしていく方法で落ち着いて過ごす事もできるようになりました。4月から小学生という事が、ゆかりちゃんにとって励みになり、がんばりにつながっていきました。療育ではルールを守っての点つなぎや数数えなど少しずつ難しいものにも取り組んでいきましたね。自分でがんばって書いたN先生への手紙、受け取ったN先生は大喜び！書くのを見ていたY先生もゆかりちゃんのがんばりに拍手拍手。特別日課で学童さんと一緒に、うどんを作ったり、お習字をしたり色々な体験をしましたね。4月からはあこがれの小学生。集団活動でのルールを守る事は簡単にはできないかもしれませんが、でも、お話をしっかり聞いてゆっくり考える、ゆかりちゃんのお話もしっかり聞いてもらうことできっと楽しい小学校生活が少しずつ送れるようになっていくのではと思います。

### しおりちゃん



ママーママーと最初は  
泣いていたしおりちゃ  
ん。お弁当を食べる時  
のもぐもぐごっくんも  
難しかったしおりちゃ

ん。でも、年長さんになった今は...返事も「はいっ」と元気よく、口音遊びも楽しくできます。のりべったんも大好き。自分で立ち上がって歩く事もできるようになってきましたね。お弁当も自分で口に運べるようになってきました。療育で取り組んだ「分銅パズル」や「ペグさし」「ワッシャー落とし」できた時は「やったね～できたね～！」と先生と一緒にいっぱい拍手をしましたね。4月からは1年生。ますます上手に歩いたり、元気に遊んだりできるようになるといいですね。



### りょうまくん



かかとトン、かかとトン！何とか立って歩いて欲しい！これが始まり。でも、ベビーカーはもう卒業。今では公園まで歩き、一人でブランコに乗ったり、ろくぼくに登ってみようとチャレンジしたり。種類、銘柄、容器にこだわりのあった飲み物もコップを使って飲み、苦手なお茶にも口をつけられるようになってきましたね。まだまだプールは苦手だけど手洗いはずいぶん上手になりました。リズム打ちが得意で朝の会でのリズム遊びでは全身で嬉しさを表現してくれましたね。幼稚園にも通うようになったりょうまくん、つぼみや幼稚園に行く朝、出発する前に鏡を見て「準備OK！」と張り切って出かけられるようになるといいですね。

### こうきくん



がんばりやのこうきくん。プールに入る支度も自分できちんとできました。細かい作業も「難しいかな」と見守っていると自分でやり易いように工夫をして取り組む姿も見られました。「ぼくを見て・ぼくはできるよ」という姿勢から、お友だちはどうしてるかな、順番だねと周りの様子を見て待っている事もできるようになりましたね。やる気満々のこうきくんが、たくさんのお友達の中で楽しく過ごせるよう、手や足の動きが難しい事もあるけれども「助けられながらも自分でやるんだ」という強い気持ちをこれからも持ち続けていってほしいと思います。

### はるくん

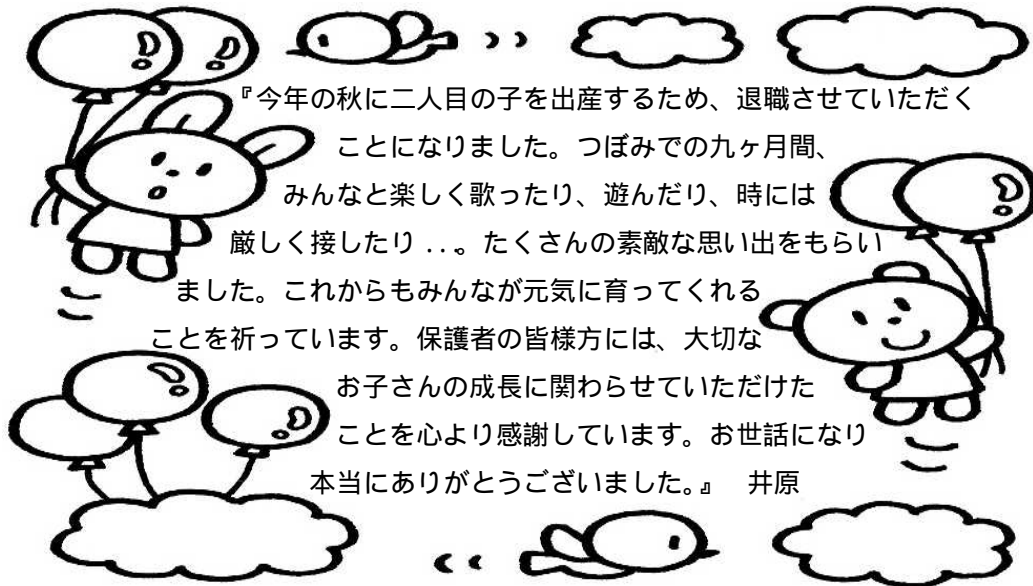


お母さんと離れるのが悲しくて、ずっと先生のひざの上で泣きながら初日を過ごしたはる君。今では、朝の会の支度が始まると「バイバ～イ」と自分から気持ちの切り替えができるようになりました。調理実習では順番が待ちきれないくらい積極的だったはる君。お迎えのお母さんにお土産を自慢気に渡す姿がびよんびよんとうれしそうに跳ねているようでした。体を動かす事も大好き。公園まで交通ルールを守りながらきちんと歩けるようになってきましたね。公園では思い切り走り回りブランコに乗ったり、お砂遊びをしたり、時間の経つのを忘れてしまうほどでした。言葉も問いかけも少しずつ増えてきましたね。幼稚園に通ったり、いろいろな経験をする中で、自分の気持ちを伝えるはる君なりの方法が沢山見つかっていくといいなと思います。

### りくくん



「『泣き虫りくくん』はさよならしてきてね！」と先生から言われることの多かったですりくくん。突然の大泣きにお友達もびっくり。小さな不安が湧き出す雲のように大きくなって「どうしようどうしよう」と頭の中でグルグル考えてしまっていたりくくん。手伝ってもらえるのが当たり前だったのが、つぼみに通い、幼稚園に通ってお友達とすごすことで、「まず、自分で何とかしなくちゃ、ぼくがんばるから見ててね」という気持ちが少しずつ少しずつ芽生えてきましたね。カスタネットばさみの使い方も上手になってきましたね。難しい事は沢山あると思います。気持ちが伝わらなくて涙が出てくる事もあるかと思います。でも、りくくんのがんばる姿がそこに見えればこそ、みんながたくさんたくさん応援してくれると思いますよ。



『今年の秋に二人目の子を出産するため、退職させていただく  
ことになりました。つぼみでの九ヶ月間、  
みんなと楽しく歌ったり、遊んだり、時には  
厳しく接したり…。たくさんの素敵な思い出をもらい  
ました。これからもみんなが元気に育ってくれる  
ことを祈っています。保護者の皆様方には、大切な  
お子さんの成長に関わらせていただいた  
ことを心より感謝しています。お世話になり  
本当にありがとうございました。』 井原



この度、家庭の都合により退職させ  
ていただくことになりました。つぼみのみんなと過ごした一年  
半。様々なことが昨日のこのように思い出されます。つぼみがだんだんとふくらん  
でやがて大きく花開くように、子供たちも一步一步大きく成長してきたように思います。  
そんな成長の日々をともに過ごせたことをとても嬉しく思います。大人が「一歩進んで二  
歩下がったのでは」と思っている、子供達は常に前向き。「先生！」と声をかけてくれる  
子供達にどんなに励まされたことでしょうか。子供達と過ごすことで沢山の事を教えられ、学ば  
せていただきました。自然いっぱい・暖かい人達いっぱいの岐阜を離れるのは淋しいですが、  
つぼみでの日々をこれからの生活にも活かしながら過ごしていきたいと思えます。つぼみ  
に通う子供達が自立への一歩を踏み出すとともに、みんなから愛される子供に、ますます  
成長されることを願っています。つぼみの皆さんに感謝!本当にありがとうございました。八木

## Kのひとこと

春ですね。春なのに涙がこぼれます。春なのに～春なのに～ 溜息またひとつ～  
懐かしい歌だけど、つつい春になると口ずさむ名曲。つぼみの春は新入社員4人を迎え、本格的に始  
まる就労支援。いつになったら出来るのか?建物。の不安と期待を胸に、つぼみが花開くことを目指し  
て突き進んでいきたいと切に願っています。

一人ひとりの子どもを、きちんと一般企業に就職してもらおうことが、「つぼみ」で、つちかってきた  
経験。職員にいつも言う「つぼみに来たくて、来る人は一人もいない。しかし、来なければならない事  
情と将来にける期待・希望を持って、この場所に通って来てくれているとするならば、私たちがやる  
べきことはたったひとつ。自立支援。」

八木先生・井原先生はそれぞれ、新しい道に進まれるけれども、2人が残してくれた、子どもたち一  
人一人に対するあつい気持ちを引き継ぎ、これからも「つぼみ」は全力で子どもたちを守って行きたい。